

令和5年度京田辺市社会福祉協議会事業報告書

新型コロナの流行も終息して、人の流れや社会経済活動が戻ってきたものの、長引くウクライナ戦争や円安、物価高騰などにより、私たちの暮らしに大きな影響を与えています。

そのような中で、本会におきましては、令和5年度から新たに「お互いさんの心と絆ではぐくむ心豊かなまち 京田辺～みんなが自分らしく輝けるまちへ つなげよう未来～」を基本理念とした『第4次京田辺市地域福祉活動計画（令和5年度から令和9年度）』に基づいた事業を展開してきました。

誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていけるよう、これまで進めてきた地域での助け合いやつながりを大切に、そしてさらなる発展に向け、地域住民や関係機関・団体の参加と協働のもと小地域福祉活動や介護保険事業（居宅介護・訪問介護・通所介護）と合わせた福祉のまちづくり、災害に強いまちづくりを進めることが期待されています。

本会の運営並びに社会福祉事業の推進にご理解、ご協力いただきました多くの皆様に感謝申し上げます、以下のとおり報告いたします。

1 社協組織の基盤整備と関係団体との連携強化

(1) 社協基盤の強化と組織活動の充実（※カッコ内前年度）

① 社協会員加入状況

6、7月の2ヶ月間を社協会員募集月間とし、各分会において地域役員の協力ならびに市内の各福祉施設や民児協等へ会員の募集を行いました。

会 員 数：6, 800名（6, 897名）

内 訳 普通会員：6, 130名（6, 235名）

特別会員：634名（639名）

賛助会員：24名（23名）

その他、施設会員：12施設（9施設）

② 支部、分会組織の活動の推進と助成金の交付

小地域福祉活動の基盤と組織的活動の推進をはかるために活動費を交付しました。

・28分会：544, 650円（24分会：437, 085円）

(2) 財源の確保と造成（※カッコ内前年度）

① 会費総額：4, 147, 600円（4, 125, 790円）

② 寄付金総額：744, 224円（1, 174, 853円）

一般寄付（個人、団体、分会）33件の寄付を賜りました。

③ チャリティーバザーの開催（令和5年11月3日（祝・金））

売上：653, 550円（454, 200円）

(3) 共同募金事業（※カッコ内前年度）

① 赤い羽根共同募金

区・自治会（分会）や市内企業の協力を得て、市内での募金運動を展開しました。

募金総額：3,764,450円(4,119,771円)
 内訳 戸別募金：3,299,711円(3,275,990円)
 企業募金：307,400円(647,400円)
 その他：157,339円(196,381円)

令和4年度の募金額をもとに京都府共同募金会からの配分金(2,448,532円)により各種事業(当事者団体や福祉協力校、ボラ連への助成、社協だよりの発行、弁護士相談委託料等)を実施しました。

② 歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに12月1日から募金運動を実施し、集められた募金は、京田辺市共同募金委員会・審査委員会において審議し、年末、年始にかけて次のとおり配分しました。

募金総額：3,350,170円(3,624,352円)
 内訳 戸別募金：3,248,992円(3,342,214円)
 その他：101,178円(282,138円)

配分内容	金額	備考
見舞金(662名)	1,655,000	(見舞金) 身体障害者手帳保持者(1.2級):337名 療育手帳保持者(A.B):184名 ひとり親世帯:64名 精神障害者(1.2級):77名 (見舞品:年越しセット) 要介護認定1以上で80歳以上のひとり暮らし高齢者
見舞品(120名)	408,000	
公募による活動補助(26件)	516,619	
社協カレンダー(3,000部)	567,000	
ふとん丸洗いサービス	41,690	
ひとり親家庭クリスマス会	32,012	
障がい者交流会	40,000	
事務費	50,000	
次年度繰越金	39,849	
合計	3,350,170	

(4) 広報、啓発活動

① 社協だよりの発行

「京田辺市社協だより(第181号~第184号)」年4回(6月、9月、12月、3月)発行。ボランティアや福祉情報を掲載して、社協活動への理解と意識の高揚、参加促進をはかりました。

② ホームページによる情報の提供

本会の活動やボランティアグループ等の活動を紹介、啓発するためのホームページを適時更新しました。スマートフォンやタブレットでの表示に対応し、デバイスを問わず閲覧できるようホームページのリニューアルを行いました。

③ SNSの活用

インスタグラムを活用し、効果的な情報提供やPRに努めました。

(5) 社会福祉センターの指定管理（※カッコ内前年度）

① 社会福祉センターの指定管理

- ・開館日数：344日（343日）
- ・年間利用件数：3,061件（3,143件）
- ・年間利用者数：35,293名（34,412名）

② 社会適応訓練事業所「喫茶りあん」の運営

精神障害のある方の社会参加や就労支援を進めるために事業所で働くことを通して社会生活適応のための場として運営を行いました。

- ・営業日数：178日（179日）
- ・年間利用者数：5,510名（4,521名）

○りあんへいこっ！プロジェクト

- ・第1回 トマト寒天入り白玉フルーツポンチづくりと食育のお話

開催日：令和5年8月21日（月） 参加者：5家族

内 容：子どもと一緒に作れる簡単デザートづくりと栄養のお話

- ・第2回 手形アートでフォトフレームを作ろう

開催日：令和5年9月26日（火） 参加者：6家族

内 容：手形や足形をモチーフに親子でフォトフレームづくり

- ・第3回 アロマせっけんを作ろう

開催日：令和5年10月16日（月） 参加者：8家族

内 容：アロマせっけんづくりとアロマの効果のお話

③ 「いつでもだれでも」の開設（年20回）

乳幼児の親子の子育てを支援するために、親子同士の交流や悩みなどを意見交換し合える居場所づくりにと、原則月2回第1・3水曜日に講習室を開放しました。

- ・年間参加者：497名（441名）

④ 第8回社会福祉センターふれあいまつり

- ・開催日：令和6年3月2日（土）

- ・内 容：ボランティアグループの活動舞台発表、展示・体験、模擬店等の開催
「わたしたちのまちをよくする作品募集」表彰式及び作品展示他

(6) 会務の運営及び運営組織の見直し

① 理事会 5回

② 評議員会 2回

③ 監事会 1回

④ 専門委員会等

- ・地域福祉委員会 2回
- ・在宅支援委員会 1回
- ・ボランティアセンター運営委員会 2回
- ・貸付調査委員会 2回

⑤ 共同募金運営委員会・分会長会 3回

(7) 役職員研修会等への参加

京都府社会福祉協議会福祉人材・研修センター等が主催する会議や養成講座、階層別研修等に参加しスキルアップや交流を深めることができた。

(8) 第4次京田辺市地域福祉活動計画の推進

第4次京田辺市地域福祉活動計画の円滑な進捗管理に向けて、推進委員会を設置し、幅広く意見を求めました。

① 令和5年度京田辺市地域福祉活動計画推進委員会

・開催日：令和6年3月13日（水）

・内 容：第4次京田辺市地域福祉活動計画の進捗管理について他

2 小地域福祉活動の推進と普及

(1) I♥京田辺ふれあいワークショップ

区・自治会長や社協分会長、民生委員・児童委員などが参加し、これまでのワークショップでの協議を踏まえ、課題解決に向けた具体的な実践や役割づくりについて検討しました。

① ワークショップ① 参加者：12名

・対象地域：新興戸、東地域

・開催日：令和5年9月30日（土）

・場 所：中部住民センターせせらぎ

② ワークショップ② 参加者：16名

・対象地域：松井ヶ丘、山手東、ファインパーク、花住坂、山手南、山手西地域

・開催日：令和5年12月2日（土）

・場 所：北部住民センターとうちく

(2) 地域づくりフォーラム『地域で支えあうための一歩をふみだそう！』

・開催日：令和6年3月16日（土） 参加者：41名

・場 所：京田辺市商工会館

・内 容：基調講演「地域で支えあうための一歩をふみだそう！」

講 師：北垣 智基 氏（天理大学人間学部人間関係学科准教授）

取組報告「令和5年度I♥京田辺ふれあいワークショップからの一歩」

報告者①笹山 典孝（本会職員）

報告者②トニー バレラ 氏（東地域）

報告者③長谷川 学 氏（山手西地域）

コーディネーター：北垣 智基 氏

(3) 地域ひとつなぎ事業

高齢者の孤独や孤立を防ぐことを目的に、住民や地域組織主体で展開される戸別の訪問活動への支援をする「地域ひとつなぎ事業」として助成金を交付しました。

- ・助成団体（3団体）：一休ヶ丘、南山西分会、東区第4ブロック安全安心見守り隊

(4) ふれあいサロン活動（※カッコ内前年度）

地域（区・自治会(分会)）において、高齢者の地域参加の促進や見守り、子育て支援、住民同士の交流などを目的とした活動に対し支援を行いました。

- ・活動助成金交付額：1,231,000円（1,022,000円）
- ・交付を受けた分会団体等数：31件（19件）

分会等：花住坂、山手南ローズ会、一休ヶ丘、ふくろう会、打田ファミリー‘S、飯岡、多々羅、新興戸、普賢寺、東区第4ブロック、大住ヶ丘連合自治会、三山木まちづくり協議会シルバー部会、河原、西八、薪、草内、子育てさくらんぼ、にこにこ茶話会、大住ヶ丘デジタル化推進委員会、三山木・普賢寺民協、健康ヶ丘、山手東子ども会、山手東自治会事業部福祉係、大住ヶ丘2丁目（防犯講習、防災会議）、花住坂みのりの会、田辺民児協、松井ヶ丘、悠隣館（広場、子ども教室）、松井山手民協

(5) 第11回きょうと地域福祉活動実践交流会

- ・開催日：令和5年11月25日（土） 参加者：28名
- ・場 所：社会福祉センター ※サテライト会場としてZOOMで参加
- ・講 演
『つながりづくりに楽しくチャレンジ！～みんなが主役のまち、そして輝く未来へ～』
- ・講 師：西川 正 氏（特定非営利活動法人ハンズオン埼玉 副代表理事）
- ・実践報告：①子ども食堂あいこのいえ 舞鶴市
②そやなあ談義（市内全域の男性介護者のつどい） 綾部市
③上紺屋・鍛冶町ふれあいいきいきサロン&ラジオ体操 福知山市

(6) 絆ネット構築支援事業

① 地域福祉力向上のためのネットワークづくり

小地域福祉活動の支援体制について整備を行い、今後の地域課題の抽出と住民との関係づくりや連携について進めた。また、地域のサロン活動への支援を行った。

- ・地域福祉課ミーティングにおいて調整と検討：24回開催
- ・地域活動支援：24地域・64回実施

実施地域：松井ヶ丘、山手東、花住坂、大住ヶ丘、薪、一休ヶ丘、河原、東住宅、田辺団地、興戸、草内、悠隣館、新興戸、飯岡、同志社住宅、二又、三野、山崎、多々羅、普賢寺、打田、大住地域、三山木まちづくり、緑の風
※コーディネートの必要性に応じて調整や協議を行った。

（4地域：大住ヶ丘、打田、新興戸、花住坂）

② まちづくりサポーター(市民・企業)の養成及び登録

まちづくりサポーター企業34社登録（新規登録数：12社）

- ・登録企業へのアンケートの実施と情報収集
- ・絆ネットワークニュースの発刊と記事の掲載（見守りお散歩マップ）
- ・支援対象者の見守り・生活支援事業

- 当事者、地域からの相談対応：3件
- まちサポからの情報、相談：3件
- その他新事業等の情報提供：8件

③ 令和5年度地域福祉活動の基盤強化のためのネットワークづくり事業

「企業活動と福祉をつなげる」研修会

- ・開催日：令和6年1月24日（水）
- ・場 所：社会福祉センター
- ・参加団体：まちづくりサポーター企業、京都高齢者あんしんサポート企業、市内事業者 10社11名
田辺警察署、地域包括支援センター、消費生活センター、市社会福祉課、女性交流支援ルーム、近隣市町村社協
- ・内 容：市内高齢者の現状について
久御山町社協の地域福祉活動の取組について
懇談・意見交換

④ 関係機関との連携のためのネットワークづくり

- 地域ケア会議：常磐苑圏域2回、宝生苑圏域2回
- 生活支援コーディネーター会議：9回
- 自立支援協議会地域生活支援部会：7回

3 福祉教育・ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア登録と受給調整（※カッコ内前年度）

- ・登録団体：46団体（46団体） ・準登録団体：11団体（11団体）
- ・登録者数：1,173名（1,218名）内個人ボランティア63名（61名）

② リフトカー「ふれあい号」及び「やまびこ号」による送迎サービス

- ・利用登録者：54名（66名） ・運行回数：412件（466件）
- ・送迎ボランティア：7名（7名）

○安全運転講習会の実施

- ・開催日：令和5年10月11日（水）
- ・内 容：交通ルールの再確認、実技講習等

③ ふれあいテレフォンサービス事業の実施

ボランティアグループ「たんぽぽ」7名が、自宅や社会福祉センターのテレフォン室から各対象者に電話による友愛訪問、安否確認を行った。（※カッコ内前年度）

- ・サービス利用者：16名（14名）
- ・サービス回数：345回（305回）
- ・通話延べ時間：1,704分（1,585分）

○むつみ会員へのテレフォンサービスの実施（対象者：22名、202回）

○秋の交流会（参加者：4名、ボランティア：6名）

- ・開催日：令和5年11月17日（金）

- ・内 容：流れ橋散策（八幡）と四季彩館での昼食交流会
- 春の交流会（参加者：5名、ボランティア：4名）
 - ・開催日：令和6年3月29日（金）
 - ・内 容：普賢寺大御堂拝観と普賢寺ふれあいの駅での昼食交流会
- 七夕まつりの開催（参加者：6名、ボランティア：11名）

テレフォンサービスおよびおしゃべり訪問の利用者とボランティア（テレホンボウたんぽぽ・朗読ボウせせらぎ）が一年に一度顔を合わせて親睦を深めることを目的とした交流会を実施。聖愛幼稚園園児さんをお招きし世代間交流を図る。

 - ・開催日：令和5年7月4日（火）
 - ・内 容：七夕飾りづくり、VGとおんきごうによる音楽療法、聖愛幼稚園児による歌
- ④ 活動基盤整備事業
 - 活動機材（コピー機、ボランティアルーム、倉庫）の管理
 - 本会登録ボランティアのボランティア保険への加入（基本Aプラン300円）
 - モバイル Wi-Fi ルーターの貸出
- ⑤ 「声の広報ほっと京田辺」「声の京田辺市議会だより」「声の学びの情報誌」の受託市からの委託を受け、朗読ボランティアサークル「せせらぎ」（CDへの吹き込み）、点字サークル「すみれ」（点字シールの作成）の協力により作成し、視覚障がい者など希望者へ送付しました。
 - 「声の広報ほっと京田辺(60分)」は年間12回（各30本制作）
 - 「声の京田辺市議会だより(60分)」は年間4回（各21本制作）
 - 「声の生涯学習だより(60分)」は年間6回（各10本制作）
- ⑥ コミュニケーション事業の受託
 - 点訳奉仕員養成講座
 - ・開催日：令和5年6月9日（金）～7月18日（金）[全8回]
 - ・講 師：田辺点字サークル「すみれ」会員 受講者：5名（内修了者4名）
 - 朗読奉仕員養成講座
 - ・開催日：令和5年9月20日（水）～12月13日（水）[全10回]
 - ・講 師：朗読ボランティアサークル「せせらぎ」会員 受講者：7名（内修了者2名）
 - 要約筆記奉仕員養成講座
 - ・開催日：令和5年9月21日（木）～10月26日（木）[全6回]
 - ・講 師：要約筆記サークル「たけのこ」会員 受講者：1名（内修了者1名）
- ⑦ ボランティア活動へのきっかけづくり
 - ボランティアマッチングとコーディネート

ボランティア依頼や相談について、地域や福祉施設でのボランティア活動につなげるとともにボランティア参加希望者をボランティアグループや活動とマッチングしました。また、ボランティアグループからの相談を受け、随時、需給調整を行うとともに、福祉施設等のボランティア受け入れ再開について、調整を行いました。
 - TANABE♡PROJECT

学生がボランティア活動や地域の人たちと出会い関わりを持つきっかけづくりに向

けて、「同志社大学ボランティア支援室」、「同志社女子大学ボランティア活動支援センター」及び関係機関との調整、検討を行いました。

・フードバンク食品配布会

⑧ ボランティアグループ活性化応援事業（7グループ）

○健康つば愛好会（令和5年11月26日（日））

健康音楽会（心と体の健康増進のための呼吸法やソプラノ歌手とギターによる演奏を実施）

○傾聴ボランティアグループ「カモミール」（令和5年5月～9月）

研修会（傾聴スペシャリスト通信講座を毎月例会後、受講し傾聴技術の向上に努める）

○朋友（令和5年12月17日（日））

クリスマス会（調理実習やサクソホーンや楽器の演奏と合唱など）

○まちづくり市民ねっと京田辺（令和5年4月～令和6年2月）

市民ねっと楽学塾（生涯学習の一環として地域文化・環境まちづくり等に関する講演）

○カラオケサークルすみれ会（令和5年8月～9月及び10月4日）

研修旅行及び事前勉強会（研修旅行で防災知識を学ぶとともに事前勉強会を実施）

○韓国語教室京田辺（令和6年3月2日（土））

文化体験ふれあいまつり（韓国の茶菓子の販売、韓国文化の紹介や体験）

○朗読ボランティアサークル「せせらぎ」（令和6年2月2日、9日（金））

発声、呼吸法、滑舌、正しい表現などについて研究会

⑨ フードバンク活動への運営協力

家庭で余った食品を集め、必要とする福祉団体等へお渡しするフードバンク活動を行うボランティア団体の運営協力を行いました。コープ京田辺店や同志社大学等にもご協力いただき、回収箱の設置や店舗スタッフや学生の方のご協力などにより啓発活動も併せて行いました。

⑩ ボランティア活動の啓発と普及

○ボランティア活動展

・開催日：令和6年2月6日（火）～10日（土）アルプラザ京田辺店セントラルコート

・内容：アルプラザ京田辺店をお借りし、本会登録のボランティアグループの活動や社協の取り組みをパネル展示で紹介しボランティアの協力のもと、啓発を行いました。最終日の10日（土）には特別企画と題して、演芸やゲームなどを行いました。

⑪ 組織強化事業

○ボランティアグループへの活動助成金の交付

・京田辺市社協からの助成金：484,416円（17グループ）

・京都府社協からの補助金：214,000円

・スタートアップ支援補助金：64,000円（3グループ）

・ボランティア活動継続支援補助金：50,000円（1グループ）

・地域課題支え合い補助金：100,000円（1グループ）

○バス借り上げ補助金：4グループ

○ボランティア連絡協議会の活動支援

- ・活動補助金の交付：250,000円

- ・ボランティア管外研修

社協とボランティア連絡協議会との共催で、他市町村の先進的な活動や施設の見学を通じて知見を広げ、ボランティアの親交を深めることを目的として管外研修を実施しました。

- ・実施日：令和5年11月13日（月） 参加者：31名

- ・行 先：万博記念公園（大阪・吹田市）

- ・ボランティア連絡協議会30周年記念式典・講演会

ボランティア連絡協議会の行う周年事業を後援するとともに、実施に関して協力を行いました。

- ・実施日：令和6年1月20日（土） 参加者：約300名

- ・内 容：記念講演会とボランティア展示

- ・講 師：上野 千鶴子 氏（社会学者）

⑫ 災害ボランティアセンターの運営と体制強化

- 災害ボランティア事前登録者の状況（※カッコ内前年度）

- ・事前登録者：個人54名（49名）、 団体名4団体（4団体）

- 令和5年度京田辺市災害ボランティアセンター研修会（参加者：31名）

- ・開催日：令和6年3月5日（火）

- ・内 容：講演「災害ボランティアセンターの役割及び職員間の連携について」

- ・報告者：山下 宣和 氏（綾部市社会福祉協議会 事務局長）

- 災害ボランティア出前講座の実施

- ・山崎分会：令和5年10月22日（日）

- ・田辺小学校：令和5年12月19日（火）

- ・同志社住宅サロン：令和6年 1月25日（木）

- ・松井ヶ丘サロン：令和6年2月14日（水）

- ・手話サークルひよこ：令和6年3月15日（金）

- 災害用備品の整備

- 研修会等への参加

- ・令和5年京都府災害ボランティアセンター総会

- ・災害ボランティアマネジメント研修

- ・令和5年度京都府災害ボランティアセンター全体研修会

- ・京田辺市シェイクアウト訓練

- ・令和5年度避難所運営訓練

- ・令和5年度京都府災害ボランティアセンター初動支援チーム新規登録者向け研修

- ・令和5年度京都府災害ボランティアセンター災害支援コーディネーター養成講座

- ・令和5年度福祉避難サポートリーダー養成研修

- 被災地支援活動

- ・能登半島地震（七尾市災害ボランティア）：職員1名

- ・台風7号豪雨災害（福知山市・綾部市災害ボランティア）：職員4名

(2) 福祉教育の推進事業

① 市内小中学校と連携した福祉教育の活動推進と実践

○福祉協力校への助成金

社会福祉への関心を高め、福祉の心やボランティア精神の醸成を目的とする市内各学校独自の福祉教育活動に対して30,000円を上限に助成金を交付する。

- ・小学校8校、中学校1校に220,000円を助成。

○福祉協力校との連携活動

福祉協力校事業を行う各小中学校と連携し、障がい者理解や高齢者理解など福祉育を企画、検討し実施しました。

- ・申請校数：手話学習8校、点字学習4校、車いす体験10校、アイマスク体験（視覚障がい当事者の講話）7校、障がい当事者の講話（肢体含む）1校
認知症サポーター養成講座7校、防災学習1校、昔遊び3校

② 社会福祉体験学習事業

夏休みを利用し、京田辺市内の4つの中学校と2つの高等学校の生徒を対象に、社会福祉施設や団体の利用者や職員との交流を通じて、福祉に対する意識づくりや関心が高まるよう社会福祉体験学習を実施しました。

- ・参加校数：6校
- ・参加生徒数：70人
- ・体験施設数：27施設・団体

4 市民福祉の向上と地域福祉活動の推進

(1) 高齢者福祉事業

① 白寿の方への記念品（タオルセット）の贈呈（22名）

② 市内高齢者施設への記念品（タオル）の贈呈（5施設）

贈呈施設：セピアの園、やすらぎの杜、洛南寮、つつきの郷、九十九園

③ ふれあい給食サービスの実施（延べ受給者：189名、総配食数：3,013食）

ひとり暮らしの高齢者及び高齢者世帯等対象に友愛訪問による給食サービスを提供しました。給食調理については、給食調理ボランティアグループ「あじさい」と市内の老人ホーム（洛南寮、セピアの園、つつきの郷、やすらぎの杜）の協力を得、配食にあたっては、配食ボランティア、民生児童委員、分会長に協力いただき、月2回、夕食として配食しました。

○ふれあいの掲示板の発行

④ ひとり暮らし高齢者への社会参加促進事業

○ひだまりの会の開催

洛南寮と協働により入所者と地域高齢者の交流会として、地域住民のボランティアにより、長年にわたり開催をしてきた。新型コロナウイルスの流行により、令和2年度より洛南寮への訪問が実施できず、地域での交流事業として月1回（社会福祉センターまたは北部住民センター）開催した。

- 令和5年4月18日(火) 季節の歌と脳活性化ゲーム(参加者:16名)
- 5月16日(火) 季節の歌と南京玉すだれ(参加者:10名)
- 6月20日(火) 季節の歌と落語鑑賞(参加者:15名)
- 7月18日(火) 季節の歌と脳活性化ゲーム(参加者:18名)
- 9月19日(火) 季節の歌とピアノ演奏(参加者:15名)
- 10月17日(火) 季節の歌と脳活性化ゲーム(参加者:6名)
- 11月21日(火) 季節の歌とリコーダー演奏(参加者:13名)
- 12月19日(火) 干支の色紙づくり(参加者:17名)
- 12月22日(金) 干支の色紙づくり(参加者:7名)
- 令和6年1月16日(火) 季節の歌と輪投げ(参加者:15名)
- 2月20日(火) 季節の歌とお楽しみ会(参加者:12名)

○ひとり暮らし高齢者交流会事業「ふれあい交流会」の開催

- ・開催日:令和5年9月7日(木)
- ・内容:ウッドバーニング体験(指導:西田保次氏)
- ・参加者:高齢者:9名、ボランティア:11名

⑤ ひとり暮らし高齢者の会「むつみ」の支援(会員数:43名)

- ・主な活動:倶楽部活動として太極拳、認知症予防ゲーム、ものづくり
会員へのお誕生日カード送付、会報の発行(3回)
- ・日帰りツアー(参加者:10名、ボランティア:2名)
開催日:令和5年5月18日(木)

内容:いちご狩り(おさぜん農園)、松花堂庭園、四季彩館

⑥ ひとり暮らし高齢者への「ふれあいCD」の発刊

ひとり暮らしの高齢者へ朗読ボランティアサークル「せせらぎ」の協力を得て、毎月1回「せせらぎおしゃべり訪問」のCDを作成し、16名に送付しました。

⑦ 市老人クラブ連合会とひとり暮らし高齢者の会「むつみ」への助成

⑧ 散髪サービス事業

在宅ねたきり高齢者等への理美容サービスを実施(28件)

(2) 障がい者福祉事業

① 「障害者週間」啓発事業

綴喜二市二町において、「障害者週間」の意義を啓発することを目的に実行委員会を組織し、宇治田原町社協が当番を担い事業に取り組みました。

○啓発活動

12月3日から9日までに障害者施設、公共施設等で啓発物品(ウェットティッシュ)の配架による啓発活動を行いました。

○記念式典及び記念事業

- ・開催日:令和5年12月3日(日)宇治田原町総合文化センターさざんかホール

○記念式典:開会挨拶、来賓祝辞、障害者社会参加宣言等

【記念講演】 演題:『明るく・楽しく、あきらめない生き方』

講師:辻井いつ子氏(ピアニスト辻井伸行氏の母)

参加者:280人(二市二町)

② 障害者団体への助成と行事等への支援

助成団体：身体障害者協会、聴覚障害者協会、視覚障害者協会、難聴者協会

- ③ 買い物支援活動（利用者延べ数：11名（実利用者3名））
移動が困難な人を対象に月1回土か日曜日に送迎・配食ボランティア「やまびこ」の協力により買物支援を行った。
- ④ 障がい者交流事業・障がい者のつどい
 - ・開催日：令和6年1月29日（月）
 - ・内 容：レクリエーションとゲームで交流 ※身体障害者協会と共催
- ⑤ 京田辺市障がい者スポーツ大会・友遊フェスタ
 - ・開催日：令和5年10月14日（土）

（3）青少年児童福祉事業

- ① ひとり親家庭への支援事業
 - 第1回親子ふれあいの集い（参加者：31名）
竜王野外活動センターにて、アウトドアクッキングとレクリエーションを楽しみました。
 - ・開催日：令和5年6月4日（日）
 - クリスマス会（参加者：45名）
親子でクリスマスフラワーアレンジメントづくりと音楽コンサートを楽しみました。
 - ・開催日：令和5年12月10日（日）
 - 第2回親子ふれあいの集い（参加者：33名）
新入学児童を祝う会終了後にお楽しみ会として、みんなで楽しく簡単おやつづくりをしました。
 - ・開催日：令和6年2月10日（土）
 - ひとり親家庭小学校入学児童へ祝品（図書カード）の贈呈（10世帯）
- ② 子育て支援事業
 - 子育て講演会の開催
京田辺市と京田辺市要保護児童対策地域協議会との共催で、今年度は本会が担当年として開催しました。
「見つけよう！あなたらしい子育てを応援ー子どもの発達とコミュニケーションー」
 - ・開催日：令和5年11月30日（木） 参加者：37名
 - ・場 所：社会福祉センター
 - ・講 師：熊澤 紅実 氏（公認心理師、臨床心理士、学校心理士）
 - 子育て応援ワークショップ ※りあんへいこっ！プロジェクトとして開催（3ページ）
- ③ 京田辺市児童福祉事業への協力
 - 児童虐待防止月間（11月）の取組
社会福祉センターにおいて、横断幕、のぼり旗、啓発グッズを設置し啓発活動を行いました。
 - 京田辺市子どもの主張大会（令和5年11月26日（日））

市内の子どもたちが日ごろ感じたことを発表する主張大会で、発表した児童、生徒に記念品として図書カードを贈りました。

(4) ふれあい福祉センター事業 (※カッコ内前年度)

心配事や不安など日常生活で抱える様々な問題について解決の糸口を見つけられるよう常駐の相談員を配置するとともに、有識者や専門家による相談窓口を開設。

(相談内容：1位 生計問題441件、2位 人権や法律問題、財産のこと417件)

- ① ふれあい相談室(月～金曜日の午前9時～午後4時)の開設
 - ・相談総件数：1,126件(1,228件)
 - ・取扱方法：電話616件、来所491件、その他19件
- ② 心配ごと相談所(原則毎月10日、25日 午後1時30分～午後4時)の開設
 - ・相談件数：8件(6件)
- ③ 専門相談の開設
 - 弁護士相談(年12回、京都弁護士会)
 - ・相談件数：58件(60件)
 - 司法書士相談(年12回、京都司法書士会)
 - ・相談件数：55件(54件)
 - 税務相談(年4回、近畿税理士会宇治支部)
 - ・相談件数：14件(16件)
 - 成年後見制度相談(年12回、成年後見センター・リーガルサポート京都支部)
 - ・相談件数：15件(23件)
 - これからのこと相談(年12回)
 - ・相談件数：4件(4件)
- ④ 相談員による研修会の実施(3回)
 - 開催日：令和5年8月28日(月)
内 容：ひきこもり支援等の相談対応について(動画研修)
 - 開催日：令和5年11月28日(火)
内 容：ひきこもり支援等の相談対応について考える
講 師：ほっこりスペースあい 森田 耕司 氏
 - 開催日：令和6年2月21日(水)
内 容：体験研修「コミュニティコーピング」
みんなで孤立をなくせ！超高齢化社会体験ゲーム
講 師：一般社団法人コレカラサポート

(5) 地域福祉権利擁護事業

① 福祉サービス利用援助事業

認知症の方、知的障がいや精神障がいのある方で、福祉サービスを利用するための手続きがよくわからなかったり、日常的な金銭管理をするのがひとりでは不安な方に対し、安心して生活できるよう支援計画に基づいて支援を行いました。(利用者：37名)

② 成年後見ステーションへの参画

成年後見制度や権利擁護に関する相談や広報・啓発を行いました。

- ・成年後見ステーション協議会（1回）
- ・成年後見ステーション運営協議会（3回）
- ・成年後見ステーション定例会（5回）

（6）貸付事業

① 生活福祉資金の貸付状況

種 類	件 数	世帯数	貸 付 金 額 (円)
総合支援資金	0(1)	0(1)	0(450,000)
教育支援資金	16(18)	9(10)	6,479,000(7,153,000)
福祉資金・福祉費（生活必需品等）	4(7)	4(7)	285,000(586,000)
福祉資金・技能習得費	1(1)	1(0)	3,684,000(0)
福祉資金・緊急小口資金	4(1)	4(2)	400,000(2,245,000)
福祉資金・冠婚葬祭、自動車購入	0(2)	0(2)	0(200,000)
合 計	25(30)	18(22)	10,848,000(10,634,000)

② 生活福祉資金償還状況の報告

借受者担当民生委員へ報告書を提出し、滞納者については担当民生児童委員と連携し生活状況の把握をしました。

③ 特例貸付フォローアップ相談・支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付者の相談窓口の開設を行い猶予等の手続きや生活状況の把握を行いました。

④ 物価高騰対策緊急支援事業

物価高騰や長期化するコロナ禍の影響により生活に困窮されている方々に食料品と生活必需品の配付を550世帯に行いました。

⑤ 年末年始生活支援事業（地域交響プロジェクト事業）

市内で活動する団体から支援物資配布の申請を受付し、5団体へ各100箱ずつ食料品等を配布しました。

（7）ひきこもり支援事業

- ① 京田辺市拠点型居場所支援事業「ほっこりあん」として喫茶りあんの一角を居場所として設置し対応しました。
- ② 京田辺市ひきこもり支援事業の相談窓口を設置し対応しました。
ひきこもり相談窓口と居場所についてのチラシを作成し啓発をしました。
- ③ ひきこもり支援連絡会議（月1回）に出席し他機関との連携を図りました。

5 在宅福祉・介護保険事業の推進

(1) 訪問介護（ホームヘルプセンター）

① 主なサービスの内容

介護を必要とする高齢者や障害者等の自宅に訪問介護員などを派遣して、日常生活の支援や身体介護、外出支援等を行いました。

身体介助…食事、排泄、衣類着脱、入浴、身体清拭、洗髪、その他必要な身体の介助
生活援助…調理、衣類の洗濯・補修、住居等の掃除・整理整頓、生活必需品の買い物等

② 職員体制（令和6年3月現在）

職 種	人 数	備 考
事業所管理者	1名	サービス提供責任者兼務
サービス提供責任者	3名	
非常勤ヘルパー	19名	
合 計	23名	

③ 事業内容及び実績（※カッコ内前年度）

	種 別	対 象 者	派遣回数	月平均実利用者数
介護保険	訪問介護	要介護1～5	5,661 (5,769)	50 (50)
介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防相当	要支援1、2	914 (1,111)	18 (14)
障害福祉サービス	居宅介護	障害区分1～6	803 (871)	9 (9)
	重度訪問介護		0 (0)	0 (0)
	重度訪問介護			
	種 別	対 象 者	派遣回数	実利用者数
市委託事業	高齢者生活支援ヘルパー	要介護認定で非該当の高齢者	38 (4)	3 (1)
	産前・産後ヘルパー	妊産婦（家事・育児が困難等）	213 (422)	16 (20)
	生活サポート事業	障害区分を受けていない障害者	0 (0)	0 (0)
	移動支援事業	障害区分を受けた移動が困難な方	85 (146)	7 (8)
その他	介護保険外サービス	社協の訪問介護の利用者	3 (7)	2 (3)

(2) 通所介護（常磐苑デイサービスセンター）

① 主なサービス内容

在宅で介護を必要とする高齢者にデイサービスセンターに通ってもらい、食事、入

浴、その他必要な日常生活上の支援や機能訓練などを日帰りで提供するサービスです。利用者の心身機能の維持向上と、利用者の家族負担の軽減を目的として実施しました。

利用者宅からの送迎、健康チェック、レクリエーション、昼食、入浴、個別機能訓練、生活相談、健康指導等

② 職員体制（令和6年3月現在）

職 務	人 数	備 考
事業所管理者	1名	介護職員兼務
生活相談員	3名	
機能訓練指導員	3名	うち2名 看護職員兼務
介護職員	11名	うち3名 生活相談員兼務
看護職員	3名	うち2名 機能訓練指導員兼務
運転職員	1名	
合 計	22名	(実人数13名)

③ 事業内容及び実績（※カッコ内前年度）

事 業	種 別	対 象 者	延べ利用回数	実利用者数
介護保険	地域密着型通所介護	要介護1～5	2,808 (2,799)	55 (47)
介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防相当	要支援1、2	427 (471)	12 (7)

④ 運営推進会議の実施（年間2回実施）

利用者やその家族、地域住民の代表者、行政の方に集まっていたいただき、事業所の実績や状況等について報告しました。

⑤ その他

利用者等の体調管理や消毒などを徹底し新型コロナウイルス感染対策に取り組みました。

(3) 居宅介護支援（ケアプランセンター）

① 主なサービス内容

介護を必要とする高齢者等が、自宅で適切にサービスが利用できるように、介護支援専門員（ケアマネジャー）が、心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿って、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成します。そのケアプランに位置づけられたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行います。また、要介護認定訪問調査や在宅介護に関する相談に応じました。

② 職員体制（令和6年3月現在）

職 種	人 数	
事業所管理者	1名	主任介護支援専門員
介護支援専門員（ケアマネジャー）	4名	うち2名、主任介護支援専門員

合 計	5名	
-----	----	--

③ 事業内容及び実績（※カッコ内前年度）

事業	種 別	対 象 者	内 容	実利用者数
介護保険	居宅介護支援	要介護1～5	ケアプランの作成、介護サービス事業所及び関係機関との連絡調整等	給付管理月平均 128 (131)
市委託事業	介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント	要支援1～2		15 (11)
	訪問調査	介護保険の利用者または利用しようとする方	要介護認定訪問調査	48 (49)

(4) 地域窓口相談事業

① 地域窓口相談事業の件数と内容（※カッコ内前年度）

内 容	件 数		件 数
介護保険認定関係	9 (5)	医療、健康に係る相談	2 (0)
在宅サービス関係（住改・福祉用具以外）	3 (3)	介護家族の健康に係る相談	0 (0)
住宅改修（介護）・福祉用具	23 (65)	高齢者福祉サービスに係る相談	0 (0)
施設入所関係	5 (5)	その他	2 (7)
認知症及び精神保健に係る相談	1 (1)	合 計	45 (86)

(5) おたっしや応援事業

地域が中心となり定期的に集い、地域高齢者の閉じこもりや寝たきり等の予防を目的として、運動や手作業、レクリエーション等を実施します。地域サロン等からの依頼により活動のサポートを行いました。

【内 容】保健師・看護師による血圧測定、健康相談を行います。認知症予防や介護予防を目的としたレクリエーションや講師の紹介等を行います。

① 実施地域：14地域（12地域）

田辺、飯岡、草内、同志社住宅、薪、大住ヶ丘、府営団地、新興戸、多々羅、健康ヶ丘、松井ヶ丘、興戸、普賢寺、三山木

② 実施回数：97回（65回）

③ 参加延べ人数：1,516名（965名）

(6) 認知症サポーター養成講座

認知症になっても本人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、認知症についての理解や対応方法について多くの市民に広め、必要に応じてサポートができる人の輪を広げることを目的として実施しました。

【内 容】厚生労働省の「認知症サポーターキャラバン」事業に基づいた養成講座。

市内在住・在学・在勤の団体等から依頼を受け、認知症サポーター養成講座の講師を派遣する「出前講座」を実施します。また、市内小中学校の福祉教育として実施します。

【市民向け】

- ①開催日：令和5年7月26日（水） 参加者：12名
講 師：社協ケアプランセンター職員
場 所：社会福祉センター
- ②開催日：令和6年1月25日（木） 参加者：21名
講 師：デイサービスいちご 管理者 沢井 加織 氏
場 所：北部住民センターとうちく

【出前講座】

- 開催日：令和6年2月27日（火） 参加者：35名
講 師：社協在宅支援課職員
場 所：江津公民館

（7）家族介護支援事業

- ① 介護者の情報紙「さゝえ」の発行
市内の介護者にむけて、介護講座やリフレッシュ事業等の情報を掲載した情報誌を発行しました。（6月、8月、11月発行）
- ② 介護講座「介護のいろは」の開催（場所：社会福祉センター）
京田辺市民を対象に、介護の基本から個々のケース対応まで在宅介護に役立ていただくことを目的に開催しました。
 - 「在宅介護のコツ」を学びます～着替え、ベッドから車いすへの移乗などの介助～
 - ・開催日：令和5年9月14日（木） 参加者：10名
 - ・講 師：社協ホームヘルプセンター職員
 - ・協 力：(株) 愛安住（福祉用具事業所）
 - 「知っておきたい介護保険のしくみ」～分かりやすく解説します～
 - ・開催日：令和5年9月28日（木） 参加者：11名
 - ・講 師：社協在宅支援課職員
- ③ いいいききケア講座の開催
京田辺市立三山木福社会館と共催で、介護者や市民を対象とした在宅介護に活かせる講座を開催しました。

【第1回】

- 脳活性化のための臨床美術「臨床美術プログラム【カミザラエザラ】」～丸い絵皿に絵付け～
 - ・開催日：令和5年10月10日（火） 参加者：5名
 - ・講 師：荒木 忍 氏（臨床美術士）

【第2回】食事の介護講座（調理実習）「カラダ喜ぶ おもいやりご飯」

- ・開催日：令和5年10月31日（火） 参加者：4名
- ・講 師：高木 あゆみ 氏（冷蔵庫マイスター）

④ 一日リフレッシュ事業

介護者が日常の生活から離れることで介護者の疲労の解消、気分転換を図り、介護者同士の交流を図ることを目的に日帰り旅行を実施。

・開催日：令和5年11月27日（月） 参加者：14名

・行先：神戸布引ハーブ園

⑤ 介護者交流会の開催

介護者が抱える悩みを話したり、当事者同士が交流したりすることを通して、ひととき休息できる場となるよう傾聴ボランティアカモミールや市保健師の協力のもと交流・懇談を行いました。（場所：社会福祉センター）

令和5年4月24日（月）懇談（参加者：2名）

5月22日（月）懇談（参加者：2名）

6月26日（月）保健師による健康相談（参加者：2名）

7月24日（月）懇談（参加者：2名）

8月28日（月）懇談（参加者：3名）

9月25日（月）アロマリフレッシュ講座（参加者：5名）

10月23日（月）懇談（参加者：1名）

12月25日（月）フラワーアレンジメント（参加者：10名）

令和6年1月22日（月）懇談（参加者：5名）

2月26日（月）懇談（参加者：3名）

3月25日（月）懇談（参加者：2名）

(8) ふとん丸洗いサービス事業

在宅で療養中の介護を要する方が使用している寝具をクリーニングすることで、在宅での快適な生活環境を整えるとともに、介護者の負担を軽減し、在宅介護を支援することを目的として実施しました。（年2回）

また、令和4年度から、介護者の健康と安心を目的とし介護者の布団丸洗いサービスを実施（年1回）

内 容：寝具をクリーニングし、乾燥して届けます。（業者へ依頼）

利用は一人あたり年に2回まで（1回の利用につき2枚）

対 象：在宅において常時ベッド上で過ごされる等、介護が必要な60歳以上の方

利用者実人数：16名（要介護者）、9名（介護者）